
パットの供述

江渡捨文

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パットの供述

【Zコード】

N1754M

【作者名】

江渡捨文

【あらすじ】

パット少年が供述したその内容とは。

(前書き)

短編三作目。

今回は変則的な（反則的な？）内容になってしまったが、ご勘弁を。

僕は夜空を見上げるのが大好きなんだ。

キラキラと光る星を見ているとなんだか心がウキウキする。でも今は、前よりももっと好きだ。

だってあの空の星は友達の故郷だから。友達と出会ったのは1週間前だった。

最初は変なやつだと思った。

身長は僕と同じぐらいだけど、すっぽり細いし、変な服を着てるし、目がすっぽり大きかったから。

でもすぐに仲良しになれた。

友達は喋らなかつたけど、なぜか言つてることがわかつた。

友達は僕に頼みごとをした。

僕は友達に頼まれたとおりにした。だって友達だから。

そんなに難しくなかつた。まずはパパとママを殺した。次に妹。友達は喜んでくれたけど、まだ足りないって言つた。

だからジェシーおばさんと、ヨシュアおじさんも殺した。

ジェシーおばさんはちょっと大変だつたけど、包丁でいっぱい刺したら動かなくなつた。

そしたら友達はまだ足りないって言うんだ。

欲張りだよね。でも友達の頼みは聞かなくちゃ。

だから学校に行つた。学校ならいっぽい殺せると思つたから。

でも一人しか殺せなかつたよ。邪魔されちゃつた。

きっと友達は怒つてる。僕が頼みごとをちゃんとやれなかつたから。きっと怒つてる。友達は怒つて、僕とみんなを殺しちゃうんだ。

なお、小学校での事件が起きる一週間前、『空飛ぶ円盤』を見たと
いう通報が多数寄せられた。パート少年の供述によると彼が『友達』

と出会った日であるが、事件との関連性は不明。

ジェイムス・ウィルソン保安官補佐

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1754m/>

パットの供述

2010年10月12日16時49分発行